

(1)

県下の交通事故 (11月30日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
昭和63年	4,668件	114人	6,108人
平成元年	4,869件	104人	6,444人
比較	+4.3%	-8.8%	+5.5%



第86号

発行所
〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
県民会館2階
財団法人 山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 32-4682
(0552) 37-7827



中央自動車道で大滑走

このような交通環境の中で、昭和六三年中は一三三件の交通事故が発生し、一六七名が負傷し、六名の死者が尊い命をなくされております。

また、管内の国道二〇号については、バイパス等の迂回路が無いばかりか幅員が狭く、かつカーブや坂の多い山岳道路に加えて通行料金の節約目的から中央自動車道から迂回した県外の大形貨物自動車が増加する等、厳しい道路環境にあります。

また、平成元年現在つきまわすのは、九月末現在で二二三件の交通事故が発生し、一四八人が負傷しておりますが、死亡事故は昭和六三年一月一日以降発生がなくなっており、本年十月に一件発生しました。

しかしながら、事故件数及び負傷者数ともに昨年同様に大きく上回っており、非常に憂慮される状況であります。したがって当協会では、交通安全をめぐり、交通安全を推進し、交通事故を減らすための各種施策を推進してまいります。

その第二は、交通安全に関する諸施設の設置並びに維持管理です。

昨年当協会管内では夜間における交通事故が多数発生したため、夜間の事故防止を図るために昭和六三年度の事業として国道二〇号を中心として管内の五カ所に赤ランプを設置した。この模範パトカーは、夜間にお

汚れていたりしてその機能を十分に果たせないものもあるため、公安委員会の標識と共に夏中は各支部で定期的な樹木の枝払いや雑草の刈り取りを実施しております。

その第三は、暴走族対策の各種施策の推進です。

本年四月十七日に神奈川県下において、報道関係者が暴走族の男に暴行を受



山梨県交通安全協会副会長
大月交通安全協会会長
山下道男

交通事故防止県民運動

12月10日～1月10日

無事故で明るい新年を

正しいルールとマナーで

年末年始は、交通が混雑し、あわただしさも加わるほか、飲酒の機会も多く、交通事故の多発が懸念されることから、広く県民に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより交通事故を防止するために、県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会の主催で、十二月十日から一月十日まで「年末年始の交通事故防止県民運動」が実施されます。県内の交通事故は、昨年比べて死者はわずかに減少していますが、事故件数と傷者数は大幅に増加しています。これ以上、死者や傷者をださないために県民総ぐるみでこの運動に参加し事故防止につとめましょう。

飲酒運転追放に

四ない運動

運動の重点

- 一、飲酒運転の絶滅
- 二、子供と高齢者の交通事故防止
- 三、若年運転者の無謀運転の追放
- 四、シートベルト・ヘルメットの正しい着用徹底

市街地等における交通渋滞の解消

飲酒運転の危険性や事故責任の重大さについて

- 一、飲酒運転の危険性や事故責任の重大さについて
- 二、酒類提供業者の協力による飲酒運転の防止
- 三、子供と高齢者の交通事故防止
- 四、子供と高齢者の特性について

子供と高齢者の交通事故防止

- 一、子供と高齢者の特性について
- 二、酒類提供業者の協力による飲酒運転の防止

平成2年

交通安全

年間スローガン

一最優秀作一

安全は 出せるスピード 出さない勇気
歩行者・自転車利用者向け
危ないと 言うより親が、まず手本
こどもからの募集
心にも つけよう正しい しんごつき

- 一、家庭、職場、地域における安全運転の指導徹底
- 二、免許取得時、免許更新時等における安全運転講習の強化
- 三、園児・児童・生徒の冬休み中における交通安全の徹底
- 四、自転車の正しい乗り方の指導徹底と三ツカ(ライト、後部反射、ペダル)の指導徹底
- 五、夜間歩行時の反射材着用の促進
- 六、高齢運転者に対する運転適性診断の推進

- 一、正しい方法によるシートベルト・ヘルメットの着用効果の広報、啓発の徹底
- 二、家庭、職場、地域ぐるみによる着用運動の推進
- 三、道路交通環境の点検、整備の推進
- 四、道路交通に関する情報の提供と効果的な広報活動の展開

- 一、官公庁、事業所等職場ぐるみによる「ノーマイカー運動」や「マイカー相乗り」の推進
- 二、違法駐車等の排除気運の醸成
- 三、道路交通環境の点検、整備の推進
- 四、道路交通に関する情報の提供と効果的な広報活動の展開

交差点

甲府市制百周年を記念し、「夢・心・きらめく未来」をテーマとした甲府博覧会は、九月十五日から十一月十二日までの五十九日間、瀬スポーツ公園で開かれ、土曜の午後、ケヤキやイチヨウの鮮やかな紅葉を眺めながら甲府博覧会を見学した。立休映像のテーマ館、JR東海のリニアモーターカーをはじめ興味あふれるパビリオンに若者も子供もそしてお年寄りもおおいに楽しんでいました。地域の特性をいかし創意工夫をこらした博覧会をみることで、郷土の飛躍を期待して帰路につきました。

十一月三日には、待望の県立文学館がオープンし、隣接の県立美術館とともに周辺を含めて芸術の森公園となり、県内の芸術、文化の拠点としてスタートを切りました。文豪・芥川龍之介、俳人・飯田蛇笏をはじめとする多くの文学者の貴重な資料は、文学愛好者の寄りどころとなり、県民の文化活動の活性化につながることでしょう。

▽警察庁のまとめによると、全国の今年の交通事故による死者は十一月一日、九千三百七人に達し、昨年同月より六百五十五人、七・三%も多く、九千人台の大台にのったのが昨年より十七日も早く、このペースで行くとも早くと見られており、第二次交通戦争の到来とまで言われています。県内では、十一月二十三日現在交通事故死者百二人で昨年に比べて十人減少しているが、事故件数と傷者は増加し、深刻な状況です。とくに、中央自動車道の死亡事故の激増や若者や高齢者の事故が目立っています。車両台数の増大が背景にあるとはいえ、ドライバー等の安全意識の低下やルール無視が事故を招く最も大きな理由です。国民一人ひとりが安全意識を高め、総参加により交通事故の追放に努力したいものです。

優秀賞は甲府安協

111人に交通栄誉章緑十字銅章

四八〇人と二十三団体を表彰

交通安全功労者・団体・優良運転者

県警察本部と県交通安全協会主催の平成元年交通安全功労者・優良運転者等の表彰式は、十一月十四日、県民会館大ホールにおいて、望月幸明知事(代理)、保坂司県議会議長、今井良児甲府地検検事正等来賓の臨席のもとに開かれました。

表彰式は、はじめに全員で交通安全協会の追悼の黙とうを捧げて開会し、永見東吾県警察本部長と高野慶貴県安協副会長があいさつして表彰が行われました。

交通安全功労者、長期にわたって効果的な交通安全活動を続けている団体と個人、日ごろ積極的に活動して交通事故防止に功労のあった交通安全協会や役員、永年無事故無違反で他の模範とされる優良運転者、多年職務に精励し功績があった優良職員等で、四百八十八人と二十三団体に達し、表彰状と記念品が贈られて賞揚されました。

表彰に続いて、県知事(代理)、県議会議長、甲府地検検事正から慰労と励



功労団体として管区表彰を受ける甲府交母代表



県安協常任顧問に 永見東吾氏

県交通安全協会の常任顧問としてご指導をいたしておりました県警察本部長の吉田正弘氏には、警察庁の人事異動により、九月八日付で特殊法人自動車安全運転センター総務部長に転任され、後任の本部長には、警察庁長官官房総務課、秘書室長の永見東吾氏が就任されました。

永見本部長には、当協会の常任顧問としてご指導をお願いすることになりました。

山梨県警察本部より お知らせ!

毎年この時期は更新手続きをされる方が多いため免許受付の窓口が大変混雑いたします。

運転免許の更新は、更新前日の一カ月前から手続ができますので、年末年始はなるべく避けるようにして下さい。

また、十二月十九日一

月三日の間は休みになりますので更新手続きはできません。もしこの期間中に誕生日がある方で手続ができなかった方は一月四日に必ず手続をして下さい。

八田村の運転免許センターでは、土曜日及び日曜日の午後と閉庁土曜日及び日曜日も更新業務のみ窓口を開設して運転者の利便を

ましの祝辞があり、最後に県中学生交通安全弁論大会の優秀者、敷島中一年武井宏枝さんと山梨英和三年坂井綾さんが自らの体験などから交通事故の防止を訴える弁論を発表し、盛会のうちに式を閉じました。

受賞者は次のとおりです。

- 交通安全功労者
 - 甲府交通安全母の会
 - 交通安全優良事業所
 - 志村観光運輸株式会社
 - 高橋富造
 - 丸山先光
 - 西富夫
 - 飯野昭光
 - 井出恒蔵
 - 渡辺喜信
 - 渡辺典行
 - 雨宮賢
 - 長久保亀夫
 - 原田勝男
 - 宮下吉男
- 交通安全功労者(緑十字銅章)
 - 交通安全功労者
 - 志村忠義
 - 山下明
 - 藤原静馬
 - 丸山賢二
 - 由原木栄

造、石原孝也、小沢国信、千野隆、竹井今朝春、松田行男、小林九八、河西利長、築野仁朗、中込忠雄、深沢正樹、芽野克己、清水春雄、三井正樹、市川国三郎、望月受、深沢敏雄、藤田美秀、滝好文、上田稔、藤沢竹治、依田謙太郎、田中光守、桐君男、和田照次、久保田宝、曾根富夫、秋鹿賢一郎、井上二郎、米山博光、三枝時彦、羽田稔、宮下滋男、小南勇作、小石川万年、矢竹眞二、渡辺義寛、細川長良、伊藤巖、佐々木公子、青柳兼三、若林熊雄、砂畑正興、藤原富雄、渡辺忠次、熊坂英夫



県政功績者に 荻原茂賀氏

県安協副会長、甲府安協会長の荻原茂賀氏(甲府市丸の内三丁目 六十九歳)は、十一月二十日の県民の日記念で県政功績者として受賞しました。

荻原氏は、昭和三十三年四月、山梨安協甲府支部評議員となり、以来三十二年余の長期にわたり、交通安全協会の役員として地域住民の安全意識の高揚、運転者講習、都市総合交通規制街頭指導等交通安全防止活動を積極的に推進し、とくに県安協副会長として各種事故防止対策を提言、実施するなど、事故防止を通じて治安維持に貢献した功労が認められ受賞したものです。

- 努力賞
 - 小笠原、上野原、非崎
- 創意賞
 - 都留
- 交通安全功労者・団体
 - 交通安全功労者
 - 三神信吾
 - 石原正信
 - 寺岡正枝
 - 仁科幸男
 - 竹元一郎
 - 山田千代子
- 交通安全功労者(団体)
 - 東京電力株式会社山梨支店
 - 甲府警察署
 - 峡中地区ロータリークラブ
 - 山梨八田農業協同組合
 - 若草町藤田地区老人クラブ
 - 非崎市立藤井小学校
 - 山一修法師会
 - 市川南幼稚園
 - 株式会社日食
 - 社会福祉法人開地保育園
 - 河口湖町立小立小学校PTA
 - 協同組合大月給食センター
 - 上野原町立桐原中学校
 - 山梨県指定自動車教習所協会
- 交通安全功労者
 - 茂手木敏
 - 窪田喜作
 - 浅川初雄
 - 永田安信
 - 中島雅栄
 - 田野口喜英
 - 井上安雄
 - 羽中進
 - 窪田兼雄
 - 箭本功
 - 桐山延芳
 - 鷹野忠正
 - 田中嘉陽
 - 宮川昭雄
 - 鈴木



自転車の点検整備と TSマークの貼布を

導員会を開催しました。

県支所では、自転車安全整備制度を一層推進するために研修を兼ねて指導員会を開いたもので、県警察本

あなたの自転車に TSマークをはりましょう

- TSマークは、よく整備された普通自転車のしるしです。
- 歩道を通行できるのは、普通自転車だけです。
- TSマークは自転車安全整備店ではあります。
- TSマークには保険(傷害・賠償責任)がついています。

自転車に乗るときの注意

- 乗る前には必ず点検しましょう。
- ブレーキが故障している自転車に乗ると違反になります。
- 夜間は、反射器や尾灯のない自転車に乗ってはいけません。
- 自転車には警音器や前照灯を取付けましょう。
- ゆるみやガタのある自転車、タイヤや空気圧が不良の自転車に乗るのは危険です。
- 交通ルールは必ず守りましょう。

あなたの自転車に TSマークをはりましょう

■TSマークは、よく整備された普通自転車のしるしです。

■歩道を通行できるのは、普通自転車だけです。

■TSマークは自転車安全整備店ではあります。

■TSマークには保険(傷害・賠償責任)がついています。

自転車に乗るときの注意

- 乗る前には必ず点検しましょう。
- ブレーキが故障している自転車に乗ると違反になります。
- 夜間は、反射器や尾灯のない自転車に乗ってはいけません。
- 自転車には警音器や前照灯を取付けましょう。
- ゆるみやガタのある自転車、タイヤや空気圧が不良の自転車に乗るのは危険です。
- 交通ルールは必ず守りましょう。

自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう。

損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13
日東ビル4階
TEL 0552-28-0691

優勝は武井さん (敷島中)

第31回中学生交通安全弁論大会



熱弁で交通安全を訴える中学生

県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞、生交通安全弁論大会は、十月二十五日、甲府市飯田三丁目、NHK甲府放送局で行われ、県内各地区の予選大会で選ばれた十七名の選手が参加し、交通安全について日ごろ考えていることや自分が体験したことなどを通した率直な意見を七分の持ち時間で発表しました。

予選大会で選ばれた皆さんだけに論旨も態度も良く、しかも中学生からみた素直で具体的な提言が多く、いずれも立派な発表でしたが審査の結果「中学生の目」と題して、自転車通学生、立脚から狭い道路と交通環境、通行をさまたげる路上駐車、二輪車・自転車の駐輪場不足等の問題を指摘して改善を訴えた敷島中一年・武井宏枝さんが優勝し、優勝旗と知事賞を贈られました。

受賞者は次のとおりです。
【優勝】〇知事賞 武井宏枝(敷島)
【準優勝】〇県議長賞 坂井綾(英和) 〇県警本部長賞 三枝律子(山梨学院) 〇県教育長賞 小林広司

〔三珠〕
〔甲府市長賞〕松野衣里子(上条)
〔優良賞〕黒部浩美(七保第一) 以下出場順、松野衣里子(上条) 滝川智絵(身延) 金山健二(御勅使) 樋口亜季(一宮) 加藤由香里(蔵) 松本里美(松里) 鶴田かおり(西山めぐみ) 武川(忍野) 中山美(明野) 佐野道子(中富) 佐野博美(身延)

第五回役員研修会
県交通安全協会(中村太郎会長)では、各地区の交通安全協会婦人部の効果的な安全活動を進めるため、九月七日、中巨摩郡白根町の白根桃源文化会館桃源閣で婦人部の第五回役員研修会を開きました。

二輪車指導員が指導要領を研修
二輪車安全運転推進委員会(塩川光男委員長)は、十一月三日、八田村の運転免許センターで二輪車安全運転指導員講習会を開きました。

全国キャラバン隊 県内を行く
県交通安全母の会連合会(鶴田美枝会長)は、八月三十一日、みんなですすめ交通安全をテーマとした「全国交通安全母の会全国キャラバン隊」の県内コースを出発させて、九月二日までの三日間、県内市町村を巡回して母親の立場から交通安全を呼びかけました。

青少年の非行が社会の大きな問題である昨今、中学生の行動は何かと批判の対象であるようです。自転車に乗る方についても「無灯火で乗るな」「スピードを出しすぎるな」「ヘルメットをかぶれ」「並列で進行するな」「雨の日はかっぱを使用しろ」「変形ハンドル禁止」等々数えあげればきりがありません。どれも命を守るという上から大事なルールであることは理解できます。守ってゆかなければならないとも思います。

困ることの二つ目は、せまい道路の両側からフェンスを越えて道路にかぶさる植木です。普通の木ならまだ良いのですが、バラなどはたまりません。私には前車をよけようとして、はじに寄った時に、バラにひっかかって痛い思いをしたことがあります。ゆとりのある道路の拡張計画や、道路沿いの店ばへ

中学生の目

敷島中 武井宏枝



人にとってはかなり危険なことでもあるわけです。今、日本の車には、外国人から見ればやりすぎと思われ、自車には、簡単な方向指示機を付ける技術もないのか、とP・Rして、お年寄りには大きな疑問です。お年寄りにはほとんど無理と思われる番号より、もう少し自転車が出来るように、自転車教室などで、さらには、同時に、自転車やバイクの路上駐車も大きな社会問題として取り上げられています。

は、よく手信号のやり方を教えてくれます。無線、ウイパーや、ブレーキ信号などの設備のない自転車では、そうしたサインは、一面で必要かと思われず、しかし、別の角度から考えれば、二輪という不安定な乗り物の上で片手運転を強いられることにもなる訳ですから、自転車の運転の上手でない

と、私は考えます。そして、駐車禁止を訴えるだけでなく、どの場所にも駐車が可能なかを、P・Rして、生念なことを述べたり、提案してきたりしましたが、もちろん私達中学生や自転車の側にも批判される点が沢山あります。もともと、とマナーやルールを守って行かなければなりません。でも、私達が困っている問題や矛盾にも耳を傾けて下さい。とかく標語やルールでは、交通弱者を守る意味の言葉が沢山言われていて、現実には知らずの間に車中心の交通社会になっているように思えてなりません。

車の中から見れば、たかが歩行者、たかが自転車、たかがバイク、でも車を運転できない私達にとっては、自転車は唯一の便利な交通手段なのです。だから、歩行者の声を大切にす市民社会であってほしいと思います。

★改装した新しい広いコースで、
全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を!
早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を!

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島 1828
TEL (0552) 85-0752

交通安全遊戯でキャラバンを迎える幼稚園児(塩山)

和、勝沼、塩山、三富、河口湖の八市町村をまわり、メッセージの伝達を行って母の会活動に対する理解と協力を求めました。また、老人クラブと幼稚園児代表による「交通安全への誓い」の発表や園児の交通安全遊戯など地域に根ざした安全活動の成果が披露される等啓発宣伝に努めて成果をあげることができました。

交通事故ゼロの願いをこめて、平成二年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品（一面掲載）と総務庁長官賞、警察庁長官賞、文部大臣奨励賞及び佳作は次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

- ◆ 総務庁長官賞
運転者（同乗者を含む）向け
平穏にゆとりで走る 新時代
- ◆ 歩行者・自転車利用者向け
自転車は 急ぐな 飛び出すな
気をつけろ かさのむこうは 赤しんこう
- ◆ 警察庁長官賞
運転者（同乗者を含む）向け
暴走で つぶすな青春 落すないのち
- ◆ 歩行者・自転車利用者向け
止まるはず 油断通信は 命取り
- ◆ ことばからの募集
自転車に 乗ったらばくも 運転手
文部大臣奨励賞
- ◆ ことばからの募集
小さなじてんしゃ大きな車 なかよく
はしろう ちきゅうのうえを

- ◆ 佳作（全日本交通安全協会会長賞）
運転者（同乗者を含む）向け
飛ばしたい 抜きたい心に ブレーキを

平成二年交通安全年間スローガン

一走り エプロンママも ヘルメット
カーライフ 楽しむあなたの よいマナー
暴走を 締め出す勇気 地域の輪
思いやり 老いの歩みに 渡る子に
早くより 無事を待っている 人がいる
ゆずりあい いい町 いる人 いい運転
◆ 歩行者・自転車利用者向け
夜の道 ちよつと着替えて 光る色
あぶないよ よそ見 とびだし ふざけっこ
お年寄り 手を貸すところで 無事故の輪
飛び出すな 物かげ 暗がり 曲り角
見たつもり 事故が見えない 夜の道
事故防止 長寿社会の 心がけ
車から 見ればあなたも ヤミの中
とまろうね あの角 この角 右左
安全は「待つ」と「譲る」のハーモニー
「急ぐなよ」と「父のひと声 身にしみる
◆ ことばからの募集
いそぐより 次の青まで 一休み
きをつけて なかよしこよし かえりみち
手をあげて とまってくにん はいおうだん
黄色でも わたっちゃんだめだ すぐ赤だ
飛び出すな 待てるまほくも かくれんぼ
まがりみち 待てるまほくも かくれんぼ
赤しんこう みんな行っても ぼくいかぬ
気をつけよう 歩道のない道 暗い道
今日からは はずかしがらずに 手をあげよう

地区だより

秋の全国交通安全運動

秋の交通安全運動は九月二十日間全国一斉に行われ、二十一日から三十日までの交通死者が激増している中



出発式で安全活動の推進を誓う鶴田県交母会長(県交対協)



交通コンパニオンが街頭で安全指導する(甲府)



櫛形老人大学でさちかぜ号による交通教室開く(小笠原)

で、高齢者や若者の事故防止を中心に運動が行われましたが、依然として死亡事故が多発し期間中の死者は全国で三百二十一人にのぼりました。本県では、運動出発式をはじめ街頭キャンペーン、安全運転コンクール若年運転者と語る会など地域の特性をいかした活動を展開しました。

期間中の県内の交通事故は、発生百四十四件、死者一人、傷者二十二人で、昨年と比べて死者が三人減少したのをはじめ発生、傷者ともに減少し、また、運動期間前日と比べて減少も、いずれも大幅な減少を示し、運動の成果をあげることができました。

きました。全事故の内容をみると、車両相互の事故が大多数で、中でも出合頭や追突が多く、また、十六歳から二十四歳の若者によって約三〇%の事故が起きていることが目立ちます。運動期間を中心とした安全活動の一端を写真で紹介いたします。

速度は控えめに 冬の高速道路安全走行

交通教室

中央道における交通量は年々一〇%前後増加し、これに伴う交通事故の発生も増加傾向にあり、特に、本年は死亡事故が激増し、一月現在二二件二五名と昨年一年間の二二件二五名と大幅に上回る等、極めて憂慮すべき状況にあります。事故の形態が夜間、雨の日に集中しているため、県警察では「中央道における交通死亡事故抑止特別対策」を七月と九月の二回にわた

り実施する等事故抑止に努めております。さて、もうすぐ冬将軍がやってきます。高速道路の運転は高速性という特性に加え、冬の気象条件が影響しますので、他の季節と異なり運転には一層の注意を払わねばなりません。次の事項に注意して冬の高速道路を安全に利用してください。

- 一、冬の高速道路の特性
 - (一) 橋の上は、積雪、凍結が早い。
 - (二) 日陰、山陰には、雪凍結が残っている場合が多い。
 - (三) 霧の発生が多く急に視界が悪くなる可能性がある。
 - (四) 風が吹くことが多

- 二、目的地的気象情報の確認
 - (一) 長距離を運転しているとき、晴れていても急に雪になったりすることがあります。事前に先行地、経路の気象状況、交通規制等について確認するとともに万が一に備えて迂回路を研究しておくことも大切です。
- 三、事前の準備
 - (一) 運行前点検を確実に。気温の急激な変化は、車にも種々のトラブルを引き起こしやすくなります。

- 四、雪と凍結は最大の敵
 - (一) 中央道は山間部を貫いて建設されている山岳ハイウェイ道路のため、毎年雪と凍結に悩まされています。
 - (二) 情報板に注意
情報板にチェーン着装の表示がでていたら必ずチェーンを着装しましょう。行けるところまで行こうと思ったり、路肩でチェーンを着装するのは危険です。サービシアリア、パークングエリア又は、指定されたチェーン着装場所を着装しましょう。
 - (三) 急ブレーキ、急ハンドルは危険
チェーンを着装しているからといって安心してきません。急ハンドル、急ブレーキ、急加速は路面の摩擦抵抗が極端に低いため、事故



雪の中央自動車道はスリップ・追突に注意

- 五、速度を控えて車間距離
 - (一) の原因となります。夜間は特に注意
路面が傾斜している所は、路肩の残雪が日に溶けて夜間に凍結しています。夜間の運転は特に注意してください。

最優秀賞に 県警高速隊

十月九日に審査した結果最優秀賞一点、金・銀・銅賞各三点の入賞と佳作六点を決めて、入賞者には賞状賞金を、佳作入賞者には賞状金をそれぞれ賞金が贈られました。今回は、昨年の百十三点の出品に比べると半減しましたが、多発している中央自動車道での重大事故など暴走の果ての事故写真が目を引きました。これらの写真は、交通安全の展示や広報紙(誌)などに活用されています。一般への貸出しもしますのでご利用ください。また、来年行うこの写真コンテストにも写真愛好家をはじめ多くの皆様の応募を期待します。入選者は次のとおりです。

- 〔最優秀賞〕県警高速隊
- 〔金賞〕県警高速隊、宮川淳三(甲府) 山村文子(甲府)
- 〔銀賞〕天川静一(甲府)
- 〔銀賞〕依田虎雄(櫛形) 県警高速隊
- 〔銅賞〕県警高速隊、松井清(甲府) 小松能正(都留)
- 〔佳作〕小松能正(都留)
- 島田幼稚園PTA(上野原) 依田虎雄(櫛形) 武田幹男(増穂・二点) 齊藤孝行(敷島)

を十分に 冬の高速道路での交通事故の多くは、車間距離を十分に取っていないことによる追突事故です。凍結路面では乾燥路面の一〇分の一くらいしか摩擦力が得られませんが、車間距離を十分にとり、速度を控えて走らないと前車の動きに対応できません。

せん。運転する場合は、基本を思い出し、冬の高速道路を安全に利用してください。

— 運転ポイント —
○ 速度を控えめにする
○ ハンドルをしっかりと握る
○ 時よりしっかりと握る
○ あわてずゆっくりと平常心を保つ
(県警高速隊交通安全警察隊)



婦人部役員が暴走族追放の署名を求め(市川)